

大阪市 平成20年度予算編成について

~市民の創造的なアイデアと結束した市民パワーで大阪を再生~

大阪市長 平松 邦夫

予算編成方針①

平成20年度の予算編成においては、

- ▶ 改革をゆるめず目標達成に向けて取り組む
- ▶ 市民が主役の市政により大阪の元気を取り戻す

ことを目指しました。

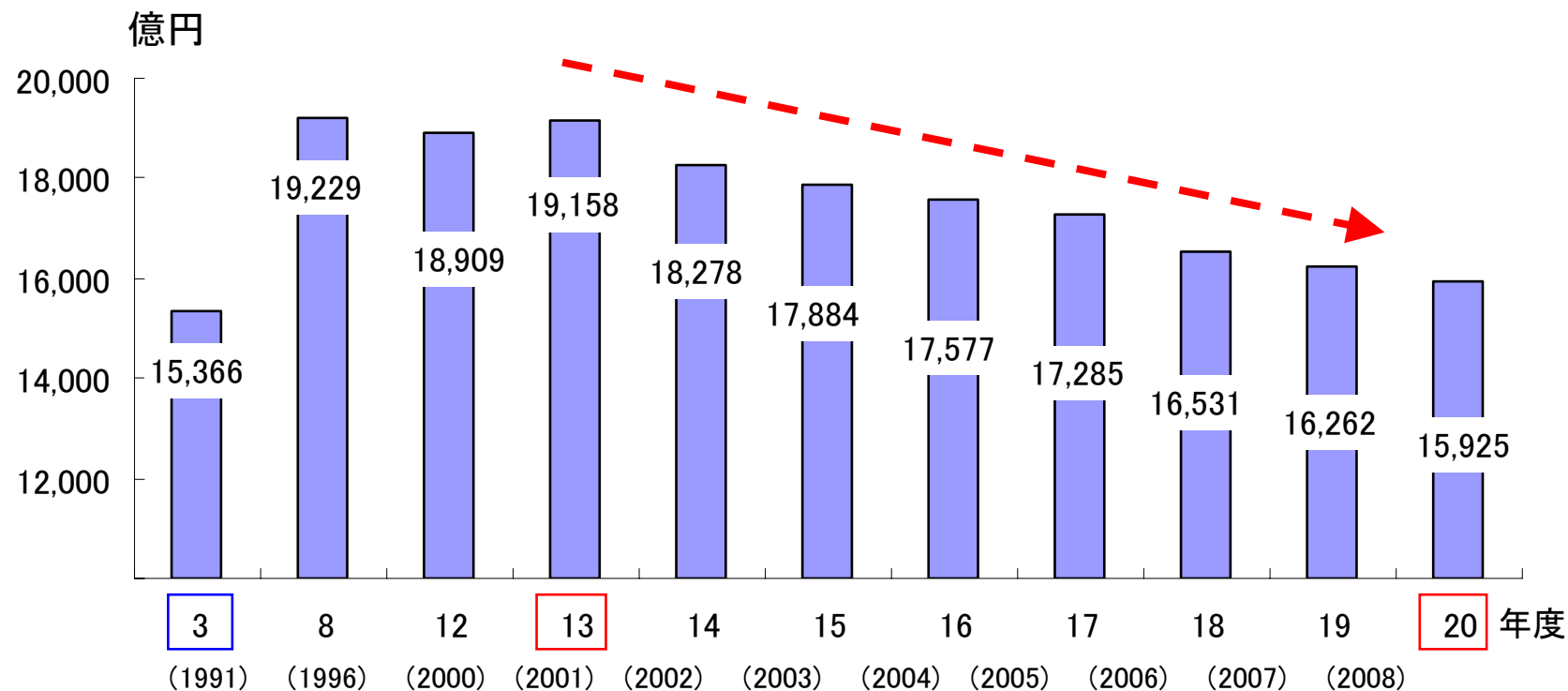
予算編成方針②

厳しい財政状況を踏まえ、行財政改革を一層推進

- 公平・公正性と透明性の確保
- 財源の確保
- 人件費の見直し・公共事業の削減

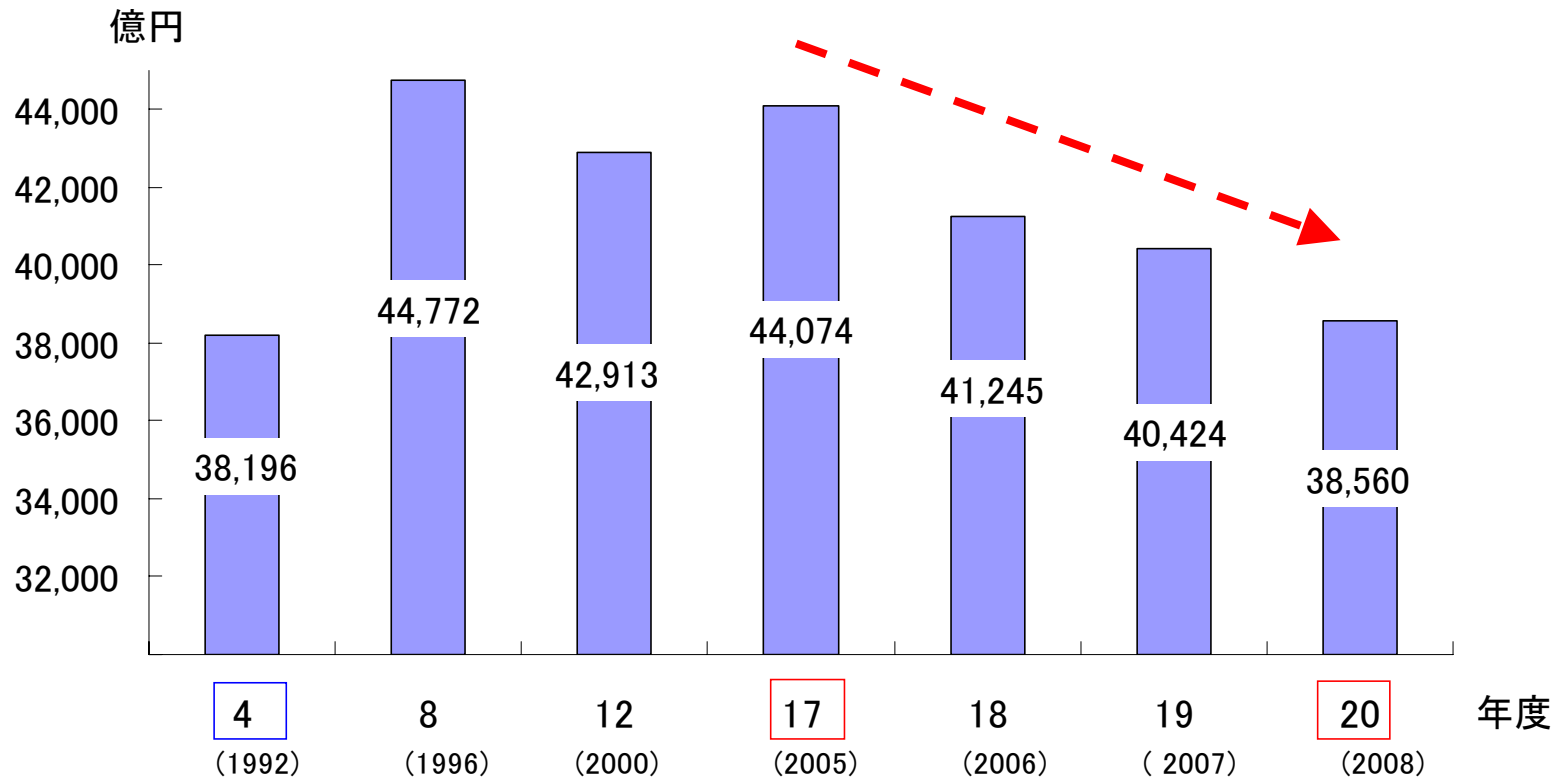
こども、地域、そして大阪が元気になる施策へ重点化

1. 一般会計歳出規模の推移(当初予算)



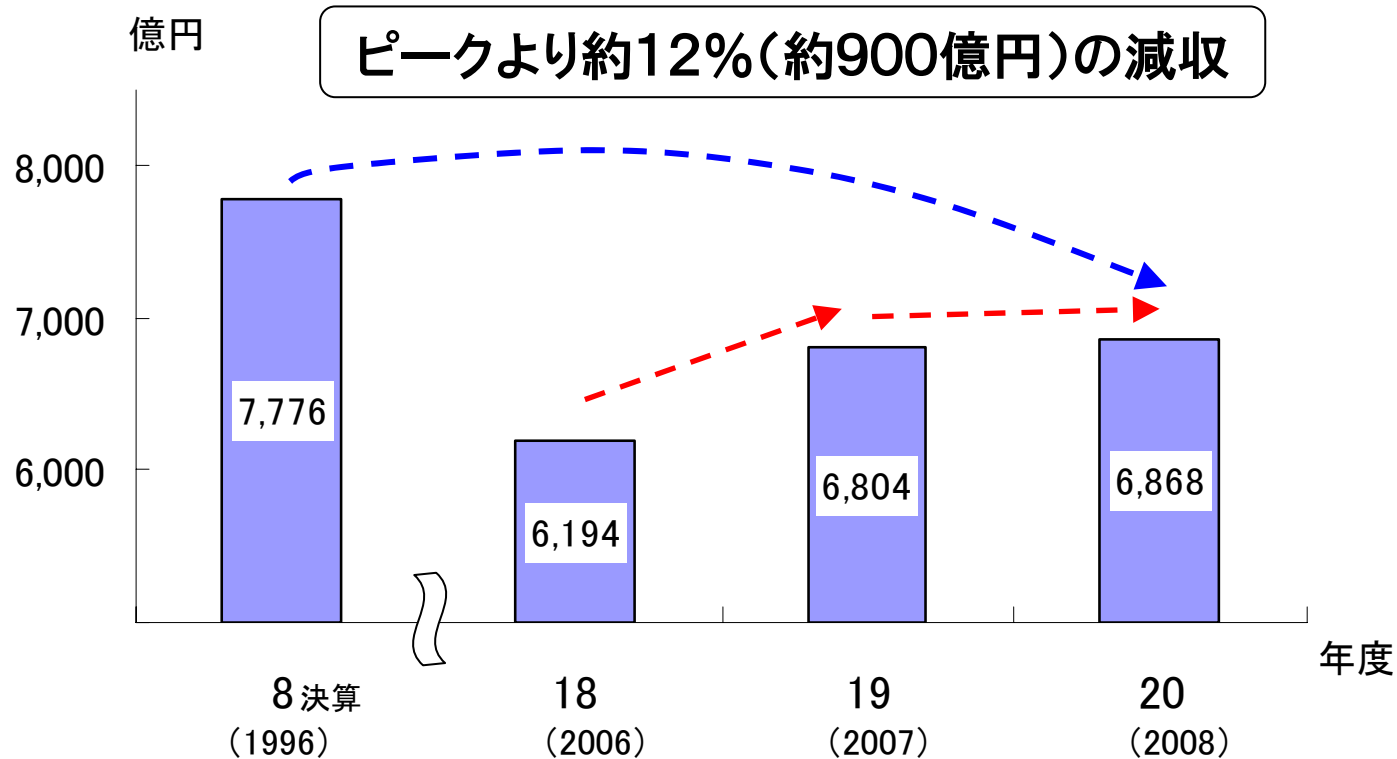
- ▶ 前年度比▲2.1%の1兆5,925億円 ⇒ 7年連続の減
- ▶ 平成3年度以来の1兆5千億円台
〔平成4年度以前(景気対策前)の水準〕

2. 全会計歳出規模の推移(当初予算)



- ▶ 前年度比▲4.6%の3兆8,560億円 ⇒ 3年連続の減
- ▶ 平成4年度以来の3兆円台
〔平成4年度以前(景気対策前)の水準〕

3. 市税予算の推移



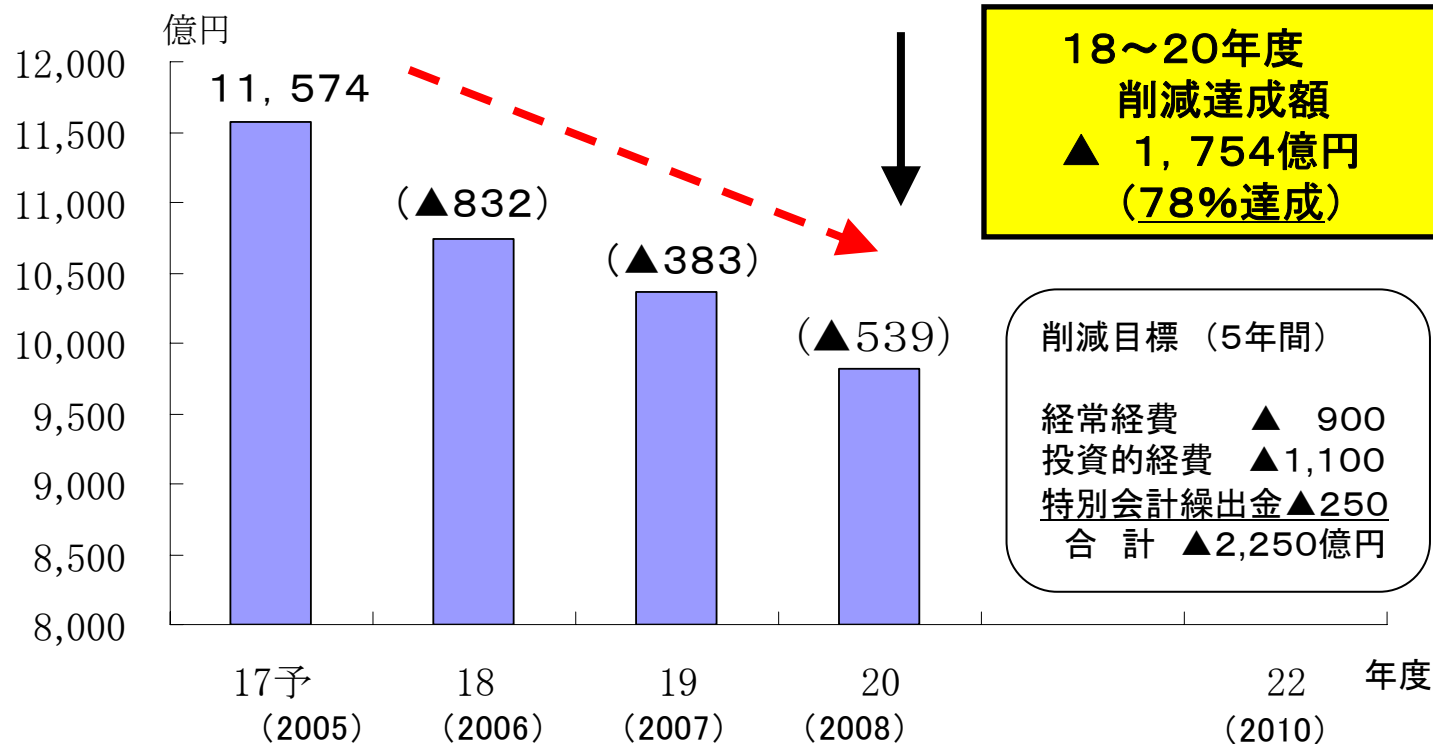
▶ 前年度比 +0.9%の6,868億円

⇒ 18→19年度の伸び率 +9.8%と比較すると鈍化

4. 市政改革の達成状況①(歳出削減)

歳出削減目標達成状況(一般会計)

経常経費・投資的経費・特別会計繰出金
(経常経費については、扶助費・公債費を除く)

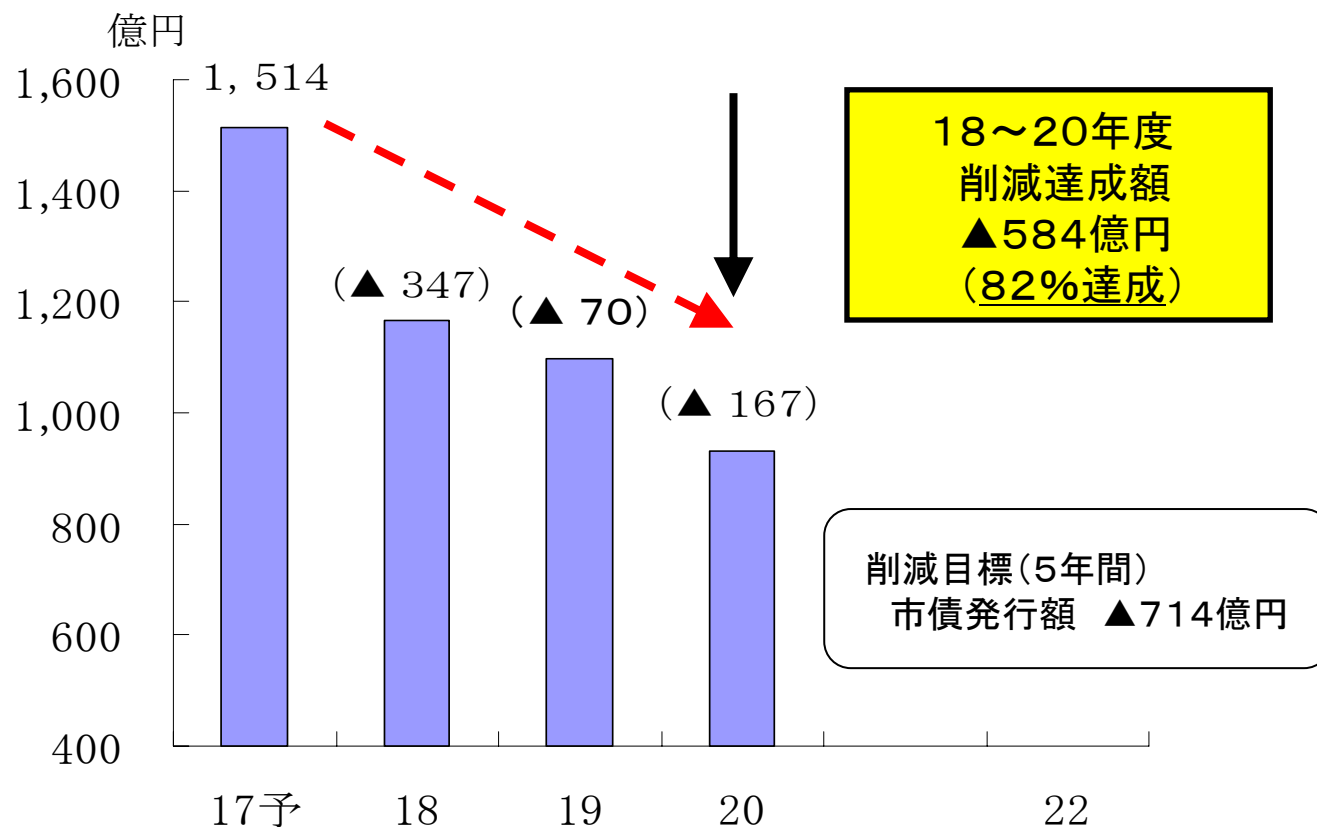


4. 市政改革の達成状況②(歳出削減の内訳)

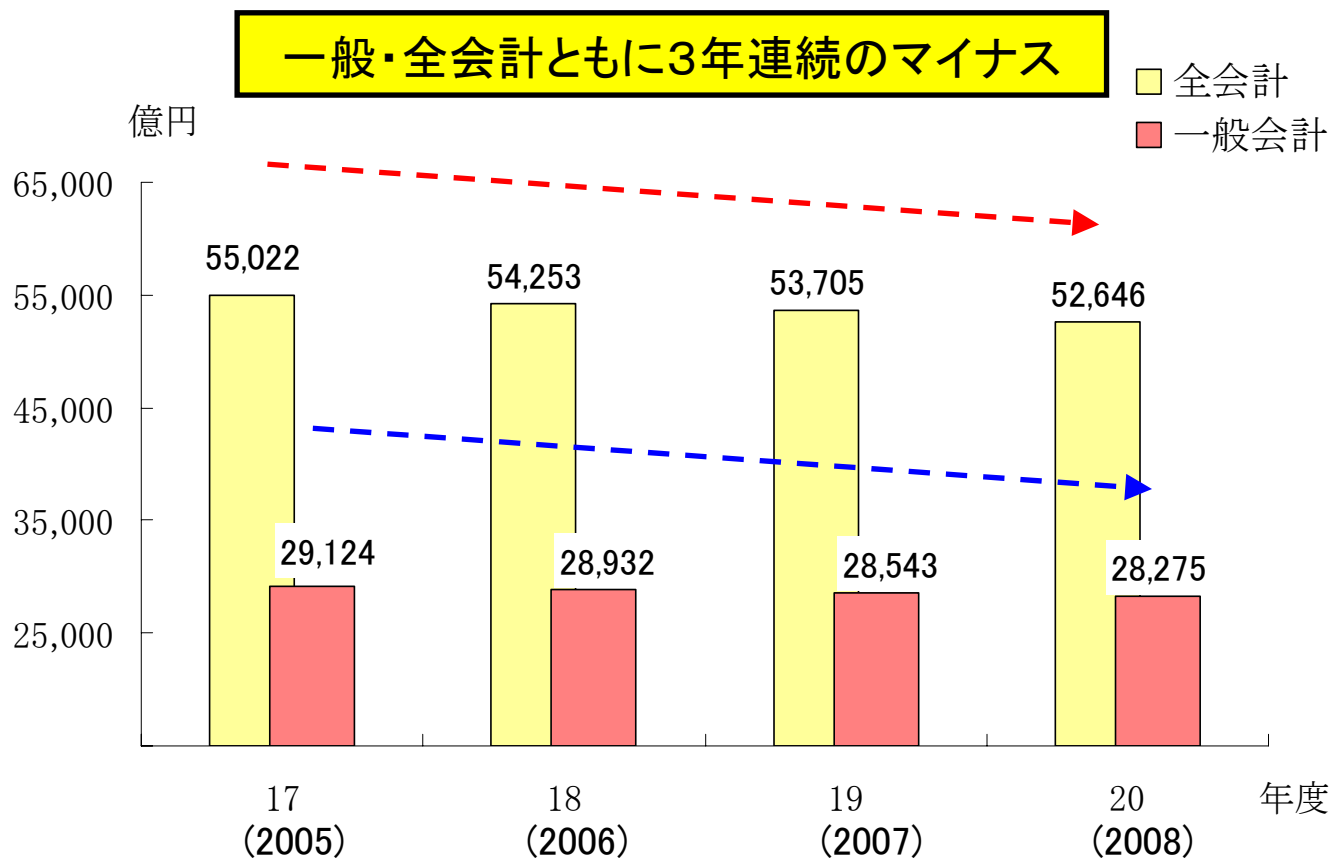
	目 標 (18~22年度)	達成額 (18~20年度)
● 経常経費 …	▲900億円	▲429億円 (達成率 48%)
● 投資的経費 …	▲1,100億円	▲1,008億円 (達成率 92%)
● 特別会計繰出金 …	▲250億円	▲317億円 (目標達成)

4. 市政改革の達成状況③(市債発行額)

一般会計〔除く臨時財政対策債、減税補てん債〕

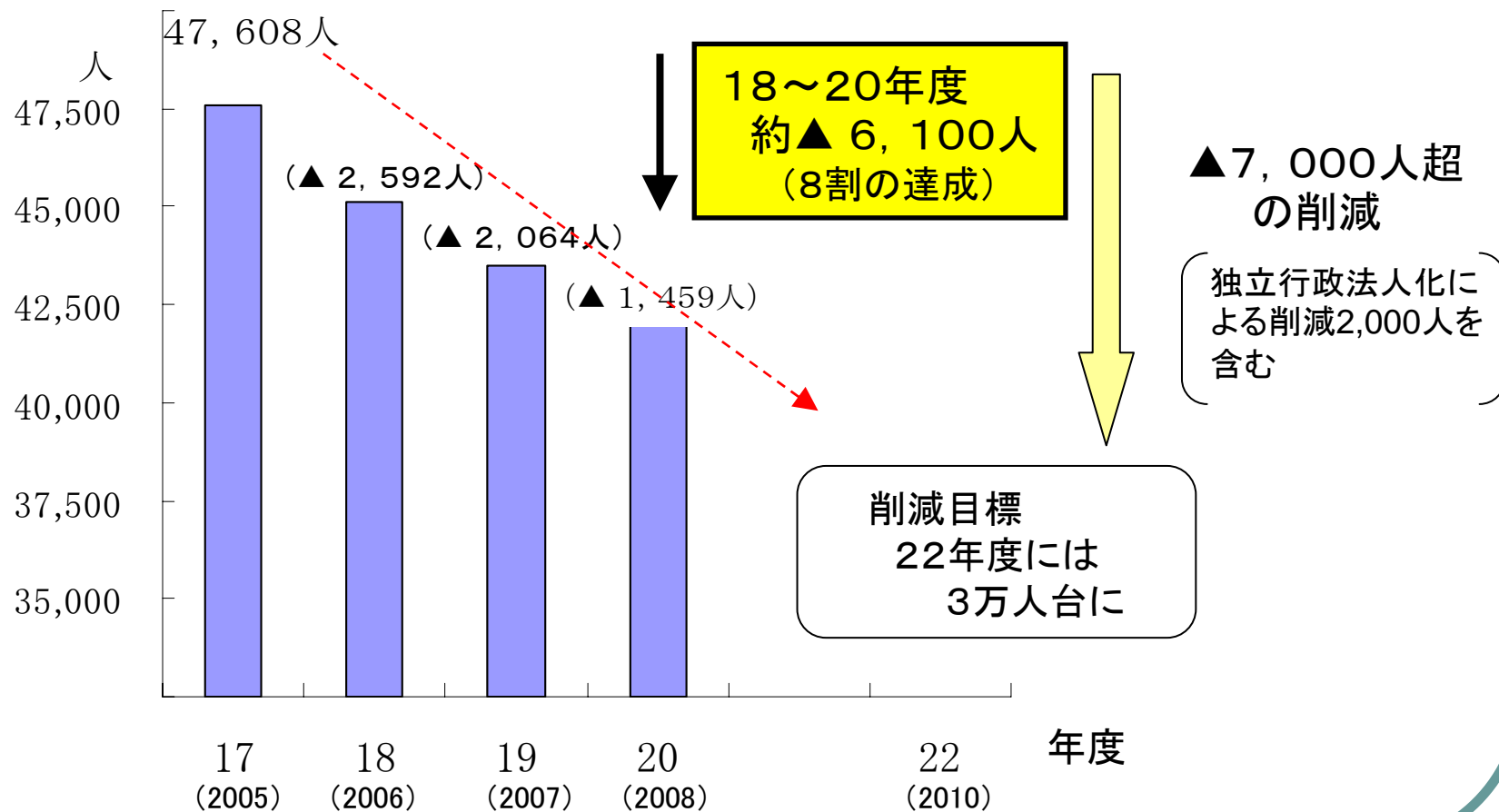


5. 市債残高(一般会計・全会計)



(注) 平成20年度は予算、19年度は見込みベースである。

6. 職員数の削減(全会計)



(注) 17~19年度は10月1日現在、20年度は4月1日見込みの職員数

7. 財政健全化の取り組み①

▶ WTC、ATCの抜本的処理策

- ⇒ 検討委員会の意見を聞き、予算審議に向け提示
- ⇒ 賃料予算の減額〔賃料単価 WTC ▲8.5%、ATC ▲7.3%〕

▶ 道路公社の経営改善対策

- ⇒ 土佐堀駐車場の借入金を20・21年度で分割して繰上げ償還
- ⇒ 駐車場全体の借入金に対する利子補給

▶ 補助金等の見直し

- ⇒ 126項目の内容見直し ▲29億円の削減(科目切替を含む)

▶ 地对財特法期限後の事業等の見直し

- ⇒ ▲6億円の削減 2カ年累計では▲45億円の削減

7. 財政健全化の取り組み②

▶ 施設活用の見直し

⇒ ごみ焼却工場配置計画の見直し(稼動体制:10→9工場) など

▶ 公共事業の見直し

⇒ 新人工島土地造成事業の市単独事業部分の休止 など
(但し、フェニックス事業との合併施工部分は21年度まで継続)

▶ 経営形態の見直し

⇒ 工業研究所の地方独立行政法人化 20年4月 など

▶ 民間委託の推進

⇒ 指定管理者制度の導入拡大(大規模公園等) など

▶ 歳入確保策

⇒ 市税や保育料等の未収額圧縮に向けた取り組み強化 など

8. 経営補佐部門の再編(案)

▶ 政策企画室

⇒ 市政の企画立案部門と秘書部門を一元化

▶ 情報公開室

⇒ 「ガラス張りの市政の実現」と「市民の目線に立った市政運営」を推進

▶ 市政改革室

⇒ 市長直轄の独立部局として位置づけ